

9月 たま通信(スタッフだより)36号

とびひ(伝染性膿痂疹)

すり傷や虫さされ、湿疹をかきこわしたところなどの傷口に化膿菌が入り込み、水ぶくれができます。その水ぶくれをかいた手で他の場所をかくと、そこにまた水ぶくれができ、あちこちに広がります。これが「とびひ」です。

治療

- ①飲み薬：抗生剤を飲んで体内から化膿菌をやっつけます。
- ②ぬり薬：抗生剤の軟膏を塗ります。

気をつけること

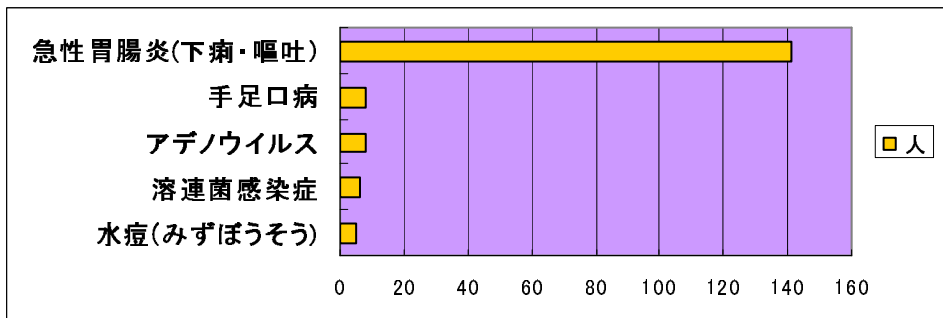
- ①お風呂：シャワーで石鹸を使用し身体の汚れを洗い流しましょう。
- ②手洗い：爪は短く切り、石鹸でしっかり洗いましょう。
- ③プール：とびひが乾くまで入らないようにしましょう。
- ④2日以上たっても水ぶくれが増えるときもう一度受診してください。

保育所・学校

- ・他の子にうつすので“とびひ”がかれるまでお休みです。
(完治証明書が必要な場合あり)



感染症発症動向調査 (H20/07/21~H20/08/20)



手足口病が流行していますが、発疹(水疱)があっても、他の症状が軽ければ登園・登校可です。

今月のおすすめ絵本

「かさぶたくん」

作：やぎゅう げんいちろう

みなさんは、転んだりケガをした時に“かさぶた”ってできた事ありますか？その“かさぶた”はどのようにしてできているのか詳しく書かれている絵本です。

“かさぶた”は、なぜ取っちゃいけないの？この絵本を読むと答えがわかります。是非、読んでみて下さいね♪



今月のスケジュール

- ・9/15(月)は敬老の日、9/23(火)は文化の日で休診日となります。
尚、9/18(木)・9/25(木)は午前中のみ臨時診療いたします。

